

私と民謡

すえみ
中尾 末美さん(愛媛民謡同好会)



▲中尾末美さん(左)と愛弟子の澤近春奈さん(右)

▶澤近さんの唄に合わせ、
三味線を弾く中尾さん



“私の人生の中で、民謡との出会いが宝物”

満倉で民謡と三味線の教室を開き、愛媛民謡同好会師範である中尾末美さんが民謡と出会ったのは40年ほど前。当時、東海・岩水地区で教室があり「教室をのぞいてみませんか」と誘われたのがきっかけ。習ううちに「ばらぬき唄」というかつお節を作る際に地元で唄われる唄と出会いました。教室に行くのが楽しくて、上手な人をまねて練習を重ね、今では自分の持ち唄だと中尾さんは話します。

大会等の送迎をしていた主人も先生の勧めで尺八を始め、布団に入っても尺八の練習するほどの没頭ぶりでした。中尾さんの一番の思い出は、四国大会を勝ち抜き全国出場した際に先生の計らいで夫婦で出場したこと。「旦那は尺八を始めたばかりで、まだ舞台に立つことが難しかったけど、先生の勧めで2人で並んで大舞台に立った。それが忘れられない思い出」と目を細めながら楽しそうに話しました。

「民謡に出会ったおかげで、たくさんの人と知り合い、夢のような大舞台にも立てた。生徒は皆さんは熱心で、楽しくお稽古しています」と笑顔で語る中尾さん。現在は25歳から80歳を超える生徒さん約10人を教えており、そのうちの一人、澤近春奈さんが6月に行われた(公財)日本民謡協会民謡民舞四国連合大会で部門別優勝、さらにその優勝者同士が競う同大会協会賞争奪戦で優勝し、見事全国への出場を決めました。平成13年度に自身も同大会で優勝しており、愛弟子の澤近さんの結果に「気負わず自然体で唄ったことが優勝に結びついたのだと思う。来年行われる全国大会が楽しみ」と功績を称えました。民謡や三味線という、とっつきづらさを感じるかもしれませんが気軽にやってみてほしい、一人でもやりたい人がいれば教えていきたいと魅力を伝えます。

編集後記

なんてこった!!
広報20周年特別企画ですが、もう8月だというのに予想よりメッセージが集まっておりません。現在1件。このままでは記念すべき20周年特別10月号が発行できません。広報係より切実なお願いです。皆さま、今一度7月号をご覧ください、「この写真の人、どこそこの誰々だよ」という情報提供や遠慮がちなご本人へ、メッセージを送っていただくようお願いいたします。

人一倍、信号に引っ掛かりがちな私。八幡神社前の信号をノンストップで通過できた記憶はほとんどなく、信号を待ちながら道端の花壇をいつも眺めている気がします。南高農業クラブの生徒さんたちが手掛けた花壇、花の綺麗さはもちろんのこと、計算され尽くした美しい配置が気持ち良くて、脱帽です。ドライバーの皆さん!八幡神社前で信号待ちの際は、スマホではなく花壇を見て癒やされましょう!

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話: (0895)72-1211 FAX: (0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口
令和6年7月1日現在

世帯数	9,888世帯 (-14世帯)
人口	18,799人 (-39人)
男	8,926人 (-12人)
女	9,873人 (-27人)
愛南町の高齢化率	47.1%
※ () 内は前月比	
●10年前 同月の人口	23,690人